

## <資料>人間学研究所の活動の軌跡

### シンポジウム、その他一覧

1996年10月15日

テーマ：「贈り物の人間学」（開学記念シンポジウム）

パネリスト：河合隼雄（本学学術顧問）、別府春海（本研究所所長）、司会：樋口和彦（同志社大学教授）

1997年12月11日

テーマ：「グローバリ化する日本の宗教」

モデレータ：別府春海（本研究所所長）

パネリスト：井上順孝（國学院大学日本研究所所長）、ウエンディ・スミス（国立民族学博物館客員教授）、中牧弘允（国立民族学博物館教授）、宮永國子（国際基督教大学社会科学研究所研究員）

1998年3月14日～15日

テーマ：「変貌する現代日本」

モデレータ：別府春海（本研究所所長）

パネリスト：J. クラマー（上智大学）、M. ジョリヴェ（上智大学）、B. マックヴェイ（東洋学園大学）、W. ハーバート（筑波大学）、H. モースバッハ（滋賀大学）、U. モーバルト（中部大学）、A. リースランド（慶應大学）、H. ベフ（本研究所所長）、T. ギル（本研究所研究員）、J. デイヴィス（スタンフォード大学）、J. ロバソン（武蔵野女子大学）、J. イーヴ（滋賀大学）

1999年3月7日～9日

テーマ：「The Place of Japan in Globalization Theory」

モデレータ：別府春海（本研究所所長）、パネリスト：M. フェザーストン（ノッティンガムトレント大学）、U. ハネルツ（ストックホルム大学）、B. モーラン（コペンハーゲン経営学大学院）、E. ペン＝アリ（ヘブライ大学）

1999年4月30日

テーマ：「生命のリズム」

モデレータ：別府春海（本研究所所長）、パネリスト：鶴見和子（上智大学名誉教授）、上田敏（平成帝京大学教授）、道浦母都子（歌人）、西川千麗（舞踊家）、高橋千鶴子（人形作家）、中村柱子（生命誌研究館副館長）

1999年6月19日

テーマ：「Forms of Creativity」

モデレータ：別府春海（本研究所所長）、パネリスト：鶴見和子（上智大学名誉教授）、D. ウェツセルズ（上智大学教授）、R. モース（麗澤大学教授）、川勝平太（国際日本文化研究センター教授）、D. ラミス（津田塾大学教授）、T. ギル（本学）

2001年12月13日

テーマ：「家族における父親」

シンポジスト：山極寿一（京都大学理学部助教授）、妙木浩之（久留米大学文学部教授）

2003年5月23日（於：京都私学会館）

テーマ「京都と文化人類学」

シンポジスト：米山俊直（大手前大学）、石毛直道（前国立民族学博物館館長）、田中真砂子（前京都文教大学大学院文化人類学研究科長）、鶴飼正樹（本学）、日野舜也（本学）

2003年11月29日（於：宇治市男女共同参画支援センター）

テーマ「ニュータウンの未来像―集まって暮らすジェンダーをひらこう」司会：杉本星子（京都文教大学）  
「赤羽団地建替えと住民たち」篠原聡子（日本女子大学）、  
「子育てネットワークの今昔」森正美（本学）、三林真弓（本学）  
「高齢者福祉総合施設「ももやま」の実験―ユニットケアと異世代交流」山田尋志（社会福祉法人健光園「ももやま」）  
「ジェンダーをひらく」西川祐子（本学）

2004年1月16日

テーマ「アフリカ都市研究ははじめ」

米山俊直（大手前大学）、日野舜也（本学）

2004年2月24日（於：日本女子大学）「ニュータウンの未来像」研究会

テーマ「アジア諸国のニュータウン」

大月敏雄（東京理科大学）

2004年2月27日

テーマ「異文化としての内なる「老い」」公開研究会

「臨床心理学の老い」高石浩一（本学）

「仏教における老い」平岡聡（本学）

2004年6月24日

テーマ「遊牧から定住へー中国東北モンゴル族の文化変容」

ウンケリル（烏雲格日勒）（京都文教大学人間学研究所客員研究員）、サイン（色音）（国際日本文化研究センター研究員、中国社会科学院民族文化研究所教授）通訳・コメンテーター

2004年11月26日（於：宇治市宇治公民館）

「学園ミュージアムを考える」、京都文教大学博物館学講座、「『（人と人をむすぶ）地域まるごとミュージアム』構築のための研究」共同主催公開シンポジウム「地域とむすぶミュージアム活動の試み」  
「地域大学・資料館―『まるごと』の2年をふりかえりながら」坂本博司（宇治市歴史資料館学芸員）  
「宇治橋通りまるごと文化フェスタ参加報告」京都文教大学あかり工房、うじぞ組  
司会：橋本和也（京都文教大学）

2005年1月11日（於：京都文教大学）

テーマ「『ライフアーズ』を観る、『ライフアーズ』で語る」人間学研究所・学生課共催公開上映会＋シンポジウム  
信田さよ子（原宿カウンスリングセンター所長、臨床心理士）  
森達也（映画監督・ドキュメンタリー作家）  
坂上香（『ライフアーズ―終身刑を超えて』監督、本学）

2005年12月17日公開講演会「ニュータウンの未来像」公開シンポジウム&イベント

テーマ「ニュータウンで育てる／ニュータウンを育てる」

シンポジウム

(1)「関東地方のニュータウンの現在」報告者：大月敏雄（東京理科大学工学部建築学科）、コメンテーター：森正美（本学）、(2)「ひきこもれるニュータウン」報告者：高石浩一（本学）、コメンテーター：川畑直人（本学）、(3)「まちづくりは人づくり」報告者：竹口等（本学）、コメンテーター：石川真作（人間学研究所客員研究員）、総括コメント：杉本星子（本学）、趣旨説明：西川祐子（本学）司会：三林真弓（本学）  
ワークショップ  
「ダンボールでオウチをつくろう！フィンランドのレイキモッキ」担当：小林大祐（本学）  
その他企画  
「ニュータウンの絵はがき展示」担当：西川祐子 3 年生ゼミ  
「休憩タイム・喫茶ハグキ」担当：佐藤久知（本学）

2006年1月17日

テーマ「京都の水・世界の水」

講演：「水と京都の暮らし」栗山一秀（月桂冠大倉記念館名誉館長）、「水の民営化問題と企業の取り組み」天野輝芳（島津製作所地球環境管理室専門課長、NPO 法人日本水フォーラム理事）、「世界の水事情と水文化―「し尿忌避文化」と「し尿親和文化」」嘉田由紀子（京都精華大学人文学部、琵琶湖博物館研究顧問）  
「水をめぐる資料展」  
協力：宇治市歴史資料館資料提供協力、鈴木史子（本学臨床心理学研究科）、大橋祥代（本学）

2006年2月3日

「学園ミュージアムを考える」公開シンポジウム

テーマ「学園ミュージアムを考える―設立・運営コーディネーターを囲んで―」

「手づくりで大学博物館をつくる―鹿児島国際大学の事例から―」中国聡（鹿児島国際大学国際文化学部教授）  
シンポジウム  
「本学の学園ミュージアム構想」  
宇治谷恵（国立民族学博物館）、坂本博司（宇治市歴史資料館）、杉本星子（本学）、永野貴子（本学）、中村博幸（本学）司会：上田富士子（本学）

2006年6月21日

連続公開ミニ・シンポジウム「鶴見和子の仕事と鶴見和子文庫（京都文教大学図書館所蔵）から思想と方法論の水脈をさぐる」（第1回）

協力：本学図書館

テーマ：「比較社会学者・鶴見和子と鶴見和子文庫の紹介」

開会挨拶：樋口和彦（本学学長）、司会：永澤哲（本学）、趣旨説明：西川祐子（研究所所長）

2006年10月18日

連続公開ミニ・シンポジウム「鶴見和子の仕事と鶴見和子文庫（京都文教大学図書館所蔵）から思想と方法論の水脈をさぐる」（第2回）

テーマ：「追悼・鶴見和子『内発的發展論の現代的意味』」

講演『『内発的發展論』は「まちづくり」によく似合う』寺口瑞生（千里金蘭大学人

間社会学部人間社会学科)

講演「開発援助の世界から見た『内発的發展論』とは」島本晴一郎(本学)、コメント:松田凡(本学) 司会:上田富士子(本学)、趣旨説明:西川祐子(人間学研究所所長)

2006年11月15日

連続公開ミニ・シンポジウム「鶴見和子の仕事と鶴見和子文庫(京都文教大学図書館所蔵)から思想と方法論の水脈をさぐる」(第3回)

テーマ:「鶴見和子と生活記録運動」

講演「生活記録運動の実践」中谷いずみ(日本大学文理学部国文学科)、講演「鶴見和子のフィールドワーク」杉本星子(京都文教大学文化人類学科)、司会:松田真理子(本学)、趣旨説明:西川祐子(人間学研究所所長)

2006年12月20日

連続公開ミニ・シンポジウム「鶴見和子の仕事と鶴見和子文庫(京都文教大学図書館所蔵)から思想と方法論の水脈をさぐる」(第4回)

テーマ:「南方熊楠・曼茶羅、鶴見和子・曼茶羅」

講演「鶴見和子の南方熊楠研究」松居竜五(龍谷大学国際文化学部国際文化学科)

2007年6月23日(於:京都市国際交流会館イベントホール)

テーマ「生活綴り方から『戦後』を考えるー鶴見和子文庫をひらいてー」報告1「『山びこ学校』の地で『戦後』農業を生きる」佐藤藤三郎(作家・農業/山形県上山市在住)、報告2「紡績工場から石油コンビナートまでを綴る」澤井余志郎(四日市公害を記録する会代表)、コメンテーター:鶴飼正樹(本学)、杉本星子(本学)、高石浩一(本学)、あいさつ:樋口和彦(本学学長)、趣旨説明:西川祐子(研究所所長)、司会:三浦潔(本学)

2008年5月14日

公開トークライブ「耳学問榎島亭」(第1回)  
「イントロダクション〜所長・ウカイ、自らを語る」  
ゲスト:鶴飼正樹(研究所所長)、司会:高石浩一(本学)

2008年6月4日

公開トークライブ「耳学問榎島亭」(第2回)  
「『障老病異(しようろうびょうい)』の臨床断(ばなし)」  
ゲスト:吉村タリ(本学)、司会:鶴飼正樹(研究所所長)

2008年7月2日

公開トークライブ「耳学問榎島亭」(第3回)  
「木綿の巻着きと機関銃〜遅れてきたフィールドワーク青春譚」  
ゲスト:松田凡(本学)、司会:鶴飼正樹(研究所所長)

2008年10月1日

公開トークライブ「耳学問榎島亭」(第4回)  
「世界の中心で、愛を叫ぼう」  
ゲスト:島本晴一郎(本学)、司会:鶴飼正樹(研究所所長)

2008年11月12日

公開トークライブ「耳学問榎島亭」(第5回)  
「僕が髪をのびている理由」  
ゲスト:濱野清志(本学)、司会:鶴飼正樹(研究所所長)

2008年12月3日

公開トークライブ「耳学問榎島亭」(第6回)  
「留年のすずめ」  
ゲスト:小林大祐(本学)、司会:鶴飼正樹(研究所所長)

2009年1月14日

公開トークライブ「耳学問榎島亭」(第7回)  
「セクシュアリティって何?ー文化人類学と臨床心理学から語るー」  
ゲスト:佐藤知久(本学)、平田俊明(本学)、司会:鶴飼正樹(研究所所長)

2009年5月30日(於:五條会館)

公開シンポジウム「鬼の踊りから祈りの踊りへ:大道芸人・ギリヤーク尼ヶ崎40年の軌跡」  
講師:ギリヤーク尼ヶ崎(大道芸人)、司会・聞き手:鶴飼正樹(研究所所長)

2009年7月1日

公開トークライブ「耳学問榎島亭」(第8回)「ギター少年がアジアの大地で聴いた音〜インド、ネパール、中国、そしてタイへ」  
ゲスト:馬場雄司(本学)、司会:鶴飼正樹(研究所所長)

2010年1月13日

公開トークライブ「耳学問榎島亭」(第9回)  
「インド経由チベット行きの舟」  
ゲスト:永澤哲(本学)、司会:鶴飼正樹(研究所所長)

2010年1月27日

公開トークライブ「耳学問榎島亭」(第10回)  
「愛猫トムと三島由紀夫とわたし」  
ゲスト:松田真理子(本学)、司会:鶴飼正樹(研究所所長)

2010年3月7日(於:京都文教中学・高等学校岡崎キャンパス内大島ホール)

公開シンポジウム「老人よ 大志を抱け」  
基調講演:都築馨一(ライター、編集者)、コメンテーター:林幸治郎(ちんどん通信社社長)、濱野清志(本学)、司会:鶴飼正樹(研究所所長)

2010年4月21日

公開シンポジウム「心理療法と占い:後ろ向きの予言としての深層心理学」  
基調講演:Maggie Hyde ユング心理学・占星術、Company of Astrologers)  
通訳・シンポジスト:鏡リュウジ(心理占星術研究家・著述家)、シンポジスト:濱野清志(本学)、秋田巖(研究所所長)

2010年6月1日

公開講座「シリーズ日本の心理療法研究」(臨床心理学部との共催)(第1回)「生活臨床の日本の特性ー西洋の精神療法と比べて」  
講師:井上新平(高知大学医学部神経精神科学教室教授)、司会・対談:秋田巖(研究所所長)

2010年6月9日

公開シンポジウム「日本の精神性研究」(臨床心理学部との共催)  
「古典芸能と日本の精神性」  
演題:「世阿弥の能とその世界観ー「頼政」をめぐるー」  
講師:天野文雄(大阪大学名誉教授)、コメンテーター:小川佳世子(京都造形芸術大学非常勤講師)、シンポジスト・司会:秋田巖(研究所所長)

2010年6月23日

公開シンポジウム「日本の精神性研究」(臨床心理学部との共催)「武道と日本の精神性」  
演題:「武士道の成立と展開」  
講師:笠谷和比古(国際日本文化研究センター研究部教授)、講師紹介・コメンテーター:馬鍾泰(本学)、司会・対談:秋田巖(研究所所長)

2010年6月30日

公開講座「シリーズ日本の心理療法研究」(臨床心理学部との共催)(第2回)「臨床動作法と日本の心理療法との関連」  
講師:鶴光代(除見学園女子大学文学部臨床心理学科教授)、コメンテーター:永澤哲(本学)、司会・対談:秋田巖(研究所所長)

2010年10月6日

公開シンポジウム「日本の精神性研究」(臨床心理学部との共催)「宗教と日本の精神性」  
演題:「寺社巡礼に見る日本の精神性ー日本の心理療法への可能性に向けてー」  
講師:藤波源信(北嶺回峰大行満大阿闍梨、延暦寺宝珠院住職)、導入解説:手嶋英貴(本学)、司会・対談:秋田巖(研究所所長)

2010年10月13日

公開シンポジウム「日本の精神性研究」(臨床心理学部との共催)  
「武道と日本の精神性」  
演題:「合気道に見る日本の精神性」  
講師:ジャック・バイエ(無限塾・代表)、コメンテーター:三野田加寿実(臨床心理士)、演武実演:中塚雅大(無限塾)、クリス・クランプン(無限塾)、三野田龍二(無限塾)、司会・対談:秋田巖(人間学研究所所長)

2010年10月20日

公開シンポジウム「日本の精神性研究」(臨床心理学部との共催)  
「古典芸能と日本の精神性」  
「鼓童」による実演と講演  
出演:「鼓童」(山口幹文(講演)、新井武志、今海一樹、辻勝、宮崎正美、阿部研三、高橋勲雄、島内博子)、  
司会・対談:秋田巖(研究所所長)、対談:清源友香奈(京都文教大学大学院臨床心理学研究科博士課程)

2010年11月4日

公開講座「シリーズ日本の心理療法研究」(臨床心理学部との共催)(第3回)「遍路にみる日本の精神性ー日本の心理療法への可能性に向けてー」  
講師:北村香織(臨床心理士)、司会・対談:秋田巖(研究所所長)

2010年11月7日

公開シンポジウム「死を育てる」(京都文教大学心理臨床センター、京都文教大学宗教委員会との共催)  
基調講演:「自殺を考える:精神科医の立場から」

講師：渡辺洋一郎（大阪精神科診療所協会会長、渡辺クリニック）、シンポジスト：篠原鋭（NPO 法人自殺防止ネットワーク「風」代表）、平岡聡（本学）、平田俊明（しらかば診療所医師） 司会・進行：金山由美（本学心理臨床センター長）、秋田巖（研究所所長）

2010 年 12 月 2 日

公開シンポジウム「日本の精神性研究」（臨床心理学部との共催）

「古典芸能と日本の精神性」

演題：「（私）についてー和歌・能における（私）と西洋的（近代的）自我」

講師：小川佳世子（京都造形芸術大学非常勤講師）

司会・対談：秋田巖（研究所所長）

2011 年 1 月 19 日

公開講座「シリーズ日本的心理療法研究」（臨床心理学部との共催）（第 4 回）「森田療法における日本の精神性」

講師：北西憲二（森田療法研究所所長、日本女子大学社会福祉学科教授）、司会・対談：秋田巖（研究所所長）

2011 年 4 月 20 日

公開講座「シリーズ日本的心理療法研究」（臨床心理学部との共催）（第 5 回）「心理臨床の日米比較：感情調節困難の臨床の発展を中心に」

講師：遊佐安一郎（長谷川メンタルヘルス研究所所長）、司会・対談：秋田巖（研究所所長）

2011 年 5 月 18 日

公開講座「シリーズ日本的心理療法研究」（臨床心理学部との共催）（第 6 回）「気と体にみる日本の精神性：気のせいか、気のおかげか？」

講師：演野清志（本学）、司会・対談：秋田巖（研究所所長）

2011 年 6 月 15 日

公開シンポジウム「日本の精神性研究」（臨床心理学部との共催）「古典芸能と日本の精神性」

演題：「能のなかの〈わたし〉」

講師：小川佳世子（歌人・能研究者・京都造形芸術大学非常勤講師）、司会・対談：秋田巖（京都文教大学人間学研究所所長）

2011 年 7 月 14 日

公開シンポジウム「日本の精神性研究」（臨床心理学部との共催）「宗教と日本の精神性」

演題：「死者への配慮」

講師：吉岡洋（京都大学大学院文学研究科教授）、司会・対談：秋田巖（京都文教大学人間学研究所所長）

2011 年 9 月 23 日

「日本の心理療法」シリーズ（臨床心理学部との共催）「日本の心理療法国際比較編」

シンポジスト：「心理療法における『美的なもの』について」

樋口和彦（一般社団法人日本ユング派分析家協会名誉会長、京都文教大学前学長）、

「西洋のサイコセラピーと日本の心性」遊佐安一郎（長谷川メンタルヘルス研究所所長）、

「数異抄、昔話そして分析」（通訳：芝田和果）ウルスラ・ヴァイス（ユング派分析家、

京都文教大学客員研究員）、

「分析心理学と表現・芸術療法ー西洋と東洋との出会いー」ポール・クーグラール（ユング派分析家）（通訳：松本寿弥）、

「海外の心理臨床家との出会いを通して」名取琢自（本学）、

「日本の風土と精神医療の出会い」吉村タリ（本学）、

あいさつ：秋田巖（研究所所長）、司会：秋田巖・名取琢自

2011 年 10 月 30 日

公開シンポジウム「非・西欧的〈わたし〉をめぐる」（臨床心理学部・健康管理センター共催シンポジウム）

シンポジスト：「能のなかの〈わたし〉」小川佳世子（歌人・能研究者・京都造形芸術大学非常勤講師）

「『自己』概念の東方伝播：印欧語文化圏からの旅人として仏教を見る」手嶋英貴（本学）

「アラブの音楽を通して見えてくるもの」〜トーク&ウード演奏〜常味裕司（ウード奏者）

「ポーランドと非・西欧をめぐる〜視覚芸術を中心に」加須屋明子（京都市立芸術大学准教授）

「和太鼓演奏における“私性（わたくしせい）”ー非我と無我を越えてー」清源友香奈（京都文教大学大学院臨床心理学研究科博士後期課程）

司会・あいさつ：秋田巖（研究所所長）

2011 年 12 月 4 日

「日本の心理療法」シリーズ（臨床心理学部との共催）「日本の心理療法思想編」

シンポジスト：「東洋における人間理解と森田療法」北西憲二（森田療法研究所・北西クリニック院長）、

「生活臨床の時代」井上新平（高知大学医学部神経精神科学教室教授）、

「サイコセラピーとしての内観」真桑城輝明（奈良女子大学文学部教授）、司会・あいさつ：秋田巖（研究所所長）

2012 年 3 月 24 日

「日本の心理療法」シリーズ（臨床心理学部との共催）「日本の心理療法身体編」

開会あいさつ秋田巖（研究所所長）「臨床心理学について」

シンポジスト：「気のせいか、気のおかげか？〜気・イメージ・身体〜」演野清志（本学）、

「歩き廻路の身体性」北村香織（臨床心理士）、

「臨床動作法に見る動作のこころ」鶴光代（跡見学園女子大学文学部臨床心理学科教授）、

「和太鼓演奏における身体体験」清源友香奈（本学臨床心理学研究科博士後期課程）

2012 年 12 月 1 日（於：キャンパスプラザ）

公開シンポジウム「人類の始まりと日本人の性文化：浮世絵春画はおもしろい」

講師：早川聞多（国際日本文化研究センター教授）、座談：桑村祐子（高台寺和久傳女将）、

佐野真由子（国際日本文化研究センター准教授）、あいさつ：鏑幹八郎（本学学長）、

座談司会：柏岡富英（本学）、総合司会：依田博（研究所所長）

2014 年 2 月 11 日（於：キャンパスプラザ京都）

公開シンポジウム「日本の大学、このころ焦ってませんか？〜「社会に役立つ大学」の価値を問う〜」（共同研究プロジェクト「大学教育の視点から本学の教育を考える」共催）

シンポジスト：藤本タ衣（東京大学大学総合教育研究センター特任研究員）、藤田尚志（九州産業大学国際文化学部臨床心理学科講師）、

井上義和（帝京大学総合教育センター准教授）、開会あいさつ：鏑幹八郎（本学学長）、

閉会あいさつ：平岡聡（本学副学長）、司会・コーディネーター：黒宮一太（京都文教大学総合社会学部専任講師）

## 講演、ワークショップ一覧

1996 年 12 月 19 日

「日本文化の中の人と人」北山修（九州大学教授）

1997 年 7 月 10 日

「現代日本における女性と女性運動」ロイス・W・バーナー（南カリフォルニア大学）

1997 年 10 月 31 日

「二十一世紀の人類像」梅棹忠夫（国立民族学博物館顧問、本学学術顧問）

1998 年 10 月 12 日

「人間性の三次元ー特に「悪」についてー」星野命（本研究所周員研究員）

1998 年 10 月 14 日

「ナラティヴ・セラピーについて」野村直樹（名古屋市立大学）

2000 年 11 月 24 日

テーマ：「海外から日本を理解する」

「グローバル化する日本のマンガ・アニメ産業」白石さや（本学）、

「海を越えた日本の企業文化・香港のヤオハン」DixonH.W.Wong(Dr.)(Assistant Professor,Department of Japanese Studies, The University of Hong Kong)

2001 年 5 月 13 日

テーマ：「日本文化論の昨今：外国から見た場合と日本から見た場合」ペフ・ハルミ（本学）

2002 年 1 月 31 日

テーマ：「京都の都市伝統の創造性と変革性ー大文字五山送り火をめぐる」とくに左大文字を中心に」和崎春日（名古屋大学教授）、

コメンテーター：伊藤唯真（京都文教短期大学学長）

2002 年 7 月 4 日

「文明から野蛮へ：生態史観からみた世界史」三木亘（歴史学者）

2003 年 1 月 31 日

「夢は「自然」か「文化」かースーダンのある社会の事例から人類の夢のナゾを考える」

岡崎彰（神奈川大学助教授）

コメンテーター：鏑幹八郎（本学）

2004 年 2 月 27 日「文明から野蛮へ」公開講演会

テーマ「文明と野蛮」

「アフリカの内戦〈の残酷性〉」栗本英世（大阪大学大学院）、

「近代戦争の虐殺のトラウマについて」野田正彰（京都女子大学）

2004 年 3 月 11 日

テーマ「学園ミュージアムを考える」

「世界の博物館の現在」吉田憲司（国立民族学博物館）

2004 年 10 月 29 日（於：京都私学会館）「ニュータウンの未来像」研究会）

テーマ「個をつなぐ住まいー“住む”側の実験と“建てる”側の実験」篠原聡子（建築家・日本女子大学）

コメンテーター：西川祐子（本学）、司会：三林真弓（本学）

#### ◆特別公開講演会『源氏物語の匂いと薫り』

共催：立命館大学大学院先端総合学術研究科・宇治市源氏物語ミュージアム

講演：京楽真帆子（滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科）

「平安京の都市文化とにおい」

講演：アラン・コルバン（パリ第一大学）

「異なかおりParfums Exotiques」

コメント：金基淑（本学）、司会：鶴飼正樹（本学）、趣旨説明：西川祐子（研究所長）、通訳：梶尾岳、資料翻訳：マティアス・ハイエク

2008年11月26日

公開講演会「現代演劇と物語」（企画：「物語と現代社会」）

講師：坂手洋二（劇作家・演出家燐光群主宰）

挨拶：鶴飼正樹（人間学研究所所長）、趣旨説明：秋田巖（臨床心理学科教授）、司会：森俊夫（現代社会学科教授）

2010年7月17日

公開講演会「チベット医学とスピリチュアリティー瞑想と癒しー」

（共同研究プロジェクト「福祉に生かす代替療法」企画）

講師：ニダ・チェナクツァン（国際伝統チベット医学研究院院長）

コメンテーター：秋田巖（研究所所長）、司会・コメンテーター：永澤哲（本学）、通訳：田上操

#### 公演、ワークショップ一覧

1997年10月1日（共催：文化人類学科）

「インド古典舞踊ーオデッシー・ダンス」（高見麻子）

1997年12月8日（共催：文化人類学科）

「エチオピア民族舞踊」（クween・シバ芸術団）

協力：エチオプスアート日本委員会

2002年12月18日

「今宵文教に精霊が集う：アフリカン・ドラムのワークショップ」

ジュリアス・チャロ・シュトウ（アフリカン・ドラム演奏者）、レオナルド・オモンディ（アフリカン・ダンサー）

コメンテーター：上田富士子（本学教授）、酒木保（本学教授）

2003年9月19日（於：山科特別養護老人ホーム）

「異文化としての内なる「老い」ー本学が誇る異能教員・老人ホームのスーパーアイドル南條まさきと老人ホームに行こう！」

2003年12月19日

「文明から野蛮へ」 特別上映会「Bowling for Columbine」

2006年4月26日～2007年1月18日まで（全37回）

人間学研究所ランチタイム・ワークショップ「鶴見和子の仕事と鶴見和子文庫を読んで（読まなくても）語り合う読書会」

2007年4月18日（共催：京都文教元氣プロジェクト・宇治シネベック）

映画上映会＋ディスカッション「レトロモダンな映画を観ながら「戦後」を語る集い」（第1回）

「酔いどれ天使」（1948年・東宝監督：黒澤明）

2007年5月2日

映画上映会＋ディスカッション「レトロモダンな映画を観ながら「戦後」を語る集い」（第2回）

「ジャンケン娘」（1955年・東宝監督：杉江敏男）

2007年6月6日

映画上映会＋ディスカッション「レトロモダンな映画を観ながら「戦後」を語る集い」（第3回）

「山びこ学校」（1952年・ハムプロ監督：今井正）

2007年7月11日

映画上映会＋ディスカッション「レトロモダンな映画を観ながら「戦後」を語る集い」（第4回）

「家族」（1970年・松竹監督：山田洋次）

2007年10月3日

映画上映会＋ディスカッション「世界の映画を観ながら「地球」を考える：若者と子どもの目でみた社会変動」（第1回）

共催：京都文教元氣プロジェクト・宇治シネベック

「ペパーミント・キャンディ」（1999年日本・韓国合作監督：イ・チャンドン）

特別解説：金基淑（本学）

2007年11月7日

映画上映会＋ディスカッション「世界の映画を観ながら「地球」を考える：若者と子どもの目でみた社会変動」（第2回）  
「フラガール」（2006年日本監督：李相日）

2007年12月12日

映画上映会＋ディスカッション「世界の映画を観ながら「地球」を考える：若者と子どもの目でみた社会変動」（第3回）  
「アトミック・カフェ」（1982年アメリカ監督：ケヴィン・ラファティ他）／「マッシュルーム・クラブ」（2005年アメリカ監督：ステイブン・オカザキ）

2008年1月16日

映画上映会＋ディスカッション「世界の映画を観ながら「地球」を考える：若者と子どもの目でみた社会変動」（第4回）  
・「フリーダム・ライターズ」（2007年アメリカ監督：リチャード・ラグラベネーズ）

2007年4月11日～2008年1月24日まで（全37回）

人間学研究所ランチタイム・ワークショップ「鶴見和子の仕事と鶴見和子文庫を読んで（読まなくても）語り合う読書会」

2012年12月8日

「Relax' mas あなたにーゆつくりまったりホッとコンサート」（臨床心理学部共催）  
保育担当：「NPO法人働きたいおんなたちのネットワーク」・軽食提供：「NPO法人エクスクラメーション・スタイル」  
協力：京都文教大学臨床心理学部保育福祉支援コース・学生（保育サポート）

〈第1部〉「きく」

持木悠（声楽家・テノール歌手）、田奈穂（ヴァイオリニスト）、石川まぎ（ピアノ伴奏）、京都文教大学・短期大学アカベラサークル「LA・LA・LA」

〈第2部〉「はなす」

グループにわかれて本学教員をまじえたフリートークと軽食

〈第3部〉「うたう」

歌唱指導：持木悠、挨拶：鐘幹八郎（本学学長）、学科説明：吉村タリ（本学）、司会進行：松井愛奈（本学）、第3部伴奏：堀内詩子（本学）

2013年5月29日

ワークショップ「京都文教“指月スタイル”ウォーキングセミナー」（第1回）

講師：三浦さやか（神戸美人塾）

2013年6月1日

ワークショップ「京都文教“指月スタイル”ウォーキングセミナー」（第2回）

講師：三浦さやか（神戸美人塾）

2015年1月21日

映画上映会：藤井光監督作品「ASAHIZA 人間は、どこへ行く」

2015年2月13日（於：キャンパスプラザ京都）

映画「ASAHIZA 人間は、どこへ行く」公開上映会＋トークセッション

ゲスト：藤井光（映画監督、「ASAHIZA」監督）、司会：コーディネーター：佐藤知久（総合社会学部准教授）、挨拶：小林康正（人間学研究所所長）

2015年10月31日（於：京都文教大学 14201号室）

映画『新しき民』上映会＋トークイベント

※京都文教大学・京都文教短期大学学園祭『指月祭』内での実施

ゲスト：山崎樹一郎（映画監督）司会：佐野伸晃（学生代表・総合社会学科）

2015年11月1日（於：キャンパスプラザ京都 第一講義室）

映画『新しき民』上映会＋トークイベント

ゲスト：山崎樹一郎（映画監督）司会：小林康正（人間学研究所所長）

## 共同研究プロジェクト一覧

〈1996 年度～ 1998 年度〉

- \* 「宗教と癒し」研究会
- \* 「ジェンダー」研究会
- \* 「脳とこころ」研究会
- \* 「パフォーマンス・アナリシス」研究会
- \* 「佛教説話と臨床心理学」研究会
- \* 「文化と人間研究の地平を越えて」

〈1999 年度〉

- \* 「脳とこころ」
- \* 「京都論：その多文化的側面から」
- \* 「家族を考える」
- \* 「生と死をめぐる学際的研究」

〈2000 年度〉

- \* 「京都論：その多文化的側面から」
- \* 「家族を考える」
- \* 「生と死を巡る学際的研究」
- \* 「食と癒しの文化」

〈2001 ～ 2002 年度〉

- \* 「家族を考える」
- \* 「京都論：その多文化的側面から」
- \* 「食と癒しの文化」
- \* 「異文化としての内なる「古い」
- \* 「ことばと心」
- \* 「野蠻と文明：20 世紀を人間学する」所長特別研究プロジェクト

〈2003 年度〉

- \* 「ことばと心」
- \* 「異文化としての内なる古い」
- \* 「ニュータウンの未来像」
- \* 「学園ミュージアムを考える」
- \* 「文明から野蠻へ」（所長特別研究プロジェクト）

〈2004 年度〉

- \* 「『近代』における『制度的知』と『異端』の対面」
- \* 「ニュータウンの未来像」
- \* 「学園ミュージアムを考える」
- \* 「異文化としての内なる古い」

〈2005 年度〉

- \* 「『近代』における「制度的知」と「異端」の対面」
- \* 「ニュータウンの未来像」
- \* 「学園ミュージアムを考える」

〈2006 年度〉

- \* 「『近代』における「制度的知」と「異端」の対面」
- \* 「物語と現代社会」
- \* 「ニュータウンのある「まち」：地域における大学の役割に関する実証的研究」

〈2007 年度〉

- \* 「物語と現代社会」
- \* 「ニュータウンのある「まち」：地域における大学の役割に関する実証的研究」

- \* 「個人の思想形成と蔵書の研究—京都文教大学図書館所蔵の鶴見和子文庫を手がかりとして—」

〈2008 年〉

- \* 「物語と現代社会」
- \* 「ニュータウンのある「まち」：地域における大学の役割に関する実証的研究」
- \* 「個人の思想形成と蔵書の研究—京都文教大学図書館所蔵の鶴見和子文庫を手がかりとして—」

〈2009 年〉

- \* 「個人の思想形成と蔵書の研究—京都文教大学図書館所蔵の鶴見和子文庫を手がかりとして—」
- \* 「日・中・英の諺による異文化の比較研究」
- \* 「福祉に生かす代替療法—音楽・気功」

〈2010 年〉

- \* 「日・中・英の諺による異文化の比較研究」
- \* 「福祉に生かす代替療法—音楽・気功」
- \* 「リバイビング・ニュータウン：住民主体のコミュニティ再活性化にむけた研究」

〈2011 年〉

- \* 「日・中・英の諺による異文化の比較研究」
- \* 「福祉に生かす代替療法—音楽・気功」
- \* 「リバイビング・ニュータウン：住民主体のコミュニティ再活性化にむけた研究」

〈2012 年〉

- \* 「リバイビング・ニュータウン：住民主体のコミュニティ再活性化にむけた研究」
- \* 「ロボット・人間学研究—情報工学と人間学の接点を探る—」
- \* 「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」

〈2013 年〉

- \* 「ロボット・人間学研究—情報工学と人間学の接点を探る—」
- \* 「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」
- \* 「大学教育の視点から本学の教育を考える」
- \* 「地域人材育成のためのプログラム構築と制度整備支援にむけた学際的研究」
- \* 「多様化する学生と大学英語教育」
- \* 「メディア・社会心理研究の有機的統合に関する共同研究」

〈2014 年〉

- \* 「ロボット・人間学研究—情報工学と人間学の接点を探る—」
- \* 「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」
- \* 「大学教育の視点から本学の教育を考える」
- \* 「多様化する学生と大学英語教育」
- \* 「メディア・社会心理研究の有機的統合に関する共同研究」

〈2015 年〉

- \* 「大学教育の視点から本学の教育を考える」
- \* 「多様化する学生と大学英語教育」
- \* 「メディア・社会心理研究の有機的統合に関する共同研究」

〈2016 年〉

- \* 「多様化する学生と大学英語教育」